

福岡県労連

KEN & ROREN

ZENROREN

2024
5月号
No.209

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822
編集発行
福岡県労働組合総連合
福岡県労連 検索

〔定価〕
1部10円

団結を力に政治を変えよう!

第95回メーデー!



市民にアピールするパレード隊



能登震災支援の報告をする
医療団労組・品川さん



挨拶をする三苦実行委員長



著書を手にもスピーチをする木村牧師

前日からの雨の予報がはずれることもなく、しつかり小雨が降る中、5月1日、警固公園で第95回福岡県中央統一メーデーが開催されました。

今年のメーデーを準備するにあたって、実行委員会では、8時間労働制を勝ち取った世界的な労働者のたたかいを記念するメーデーの歴史と伝統を受け継いだ「たたかうメーデー」という基本はありつつも、市民にメーデーを身近に感じてもらう参加してもらえない企画が必要ではないかという議論を繰り返しました。

参加しやすい取り組み初のクイズ大会

そのひとつとして今回開催したのは、「仲間の働き方クイズ大会」です。会場内には「仲間の働き方クイズ大会」です。クイズ大会では三苦実行委員長が司会を務め、各組合の働き方に関するクイズが出題され、参加者からは「当たった!」「外れた!」というよううな楽しそうな歓声があがっていました。

もうひとつ今回初の試みとして行ったものが各組合からの出展ブースです。会場内にはテントを張り、福岡医療団労組による健康チェックブース、県国公による相続登記相談ブースなどが軒を連ねました。

この出展ブースではすべてのブースをまわってシールを集めたら景品がもらえるというところもあり、各ブースとも多くの方で賑わっていました。

クイズ大会の後は三苦実行委員長より、「5月1日、仕事が忙しい中でもここに多くの働く仲間が集まったことに大きな意味がある。今こそ労働組合の役割が問われている。要求実現に向けて団結しよう」と挨拶がありました。

続いて来賓あいさつとして日本共産党の田村貴昭衆議院議員とれいわ新選組の奥田ふみよさんから力強い激励と連帯のあいさつがありました。

その後、司会より今年のメーデーのテーマは「いのち」と「平和」であること、テーマの意味はメーデーの歴史を受け継ぎ未来につなぐためにも、すべての命が大切にされ、平和のうちに暮らせる

いのちと平和を守る
身近に感じるメーデーに

その後、司会より今年のメーデーのテーマは「いのち」と「平和」であること、テーマの意味はメーデーの歴史を受け継ぎ未来につなぐためにも、すべての命が大切にされ、平和のうちに暮らせる

最初、福岡医療団労組の品川さんから能登震災医療支援の報告として「被災地のことを忘れず、できることで支援することが大切」とのお話がありました。

第2部は昨年に引き続きアピールコンテストが開催され、福岡県国公が最優秀賞を獲得



健康チェックブースの様子



作業所の仲間も参加



雨の中、多くの仲間が集まりました



盛り上がったクイズ大会

参加しやすいメーデーへ



雨の中、勝山公園でのメーデーに結集した参加者のみなさん

北九州地区では勝山公園図書館横広場にて第95回北九州統一メーデーが開催されました。当日はあいにく雨模様でしたが、46団体500人超の労働者・市民が参加し、連帯を深めました。

いまこそ私たちが労働者が団結し、声をあげていく必要性を確認し合うメーデー集会となりました。

この間の物価高騰にも関わらず、労働者の賃上げは追いついておらず、株価上昇の恩恵を受けるのは一部の富裕層です。また、平和であってこそ安心な暮らしですが、逆行する軍拡の動きも止まりません。

第95回北九州統一メーデー

いまこそ私たちが 団結するとき！

オープニングの北九州のうたごえでは時折参加者も口ずさみながら会場の熱気を高めました。主催者挨拶につづき、争議団支援、各団体の発言では、それぞれのたたかいや運動への支援が呼びかけられました。

福建労主催でアスベストシンポジウム

7月7日(日)に開催！

古くなった建物の解体のピークが2028年と言われる中、建材の形で残るアスベストが工事によって粉じん飛散し住民被害につながる事が強く心配されています。

福建労では、地域住民の皆さん(建物の所有者)、解体工事にたずさわる従事者、飛散防止のための行政に関わる職員の皆さんを交えてシンポジウムが開催されます。

職業被害が子どもたちの健康被害に職業被害として展開してきたアスベスト問題が住民被害として継続することをなんとしても防がなくてはなりません。

特にアスベストは、成長期の子供たちにはより強い影響を与えます。

専門家、行政の皆さんなどによる講演とパネルディスカッションを予定し、参加の皆さんからの質問・意見も頂戴します。皆さんの関心を寄せていただき、被害防止の世論の高まりを産み出すため、ぜひご参加ください。

【日程】 2024年7月7日(日) ■13時30分開場 ■14時開会 ■16時15分終了予定

【会場】 福岡市立中央市民センター大ホール

【講演】 ①アスベストはなぜ危険なのか(仮題)
九州社会医学研究所 田村昭彦医師

②被害防止に向けた福岡県の取組み
福岡県環境部 吉川泰彰環境保全課長

③建設現場での石綿粉じん飛散防止の具体的な対策
片井克美 一級建築士(建材調査者資格者)

建物の解体で住民被害を出さないために



広川町役場解体工事で発見されたアスベスト建材(福建労筑豊支部・原田副支部長提供)

【パネルディスカッションのパネリスト】
田村昭彦医師・相原わかば弁護士・全建総連 田久悟労対部長
佐々木允福岡県議会議員

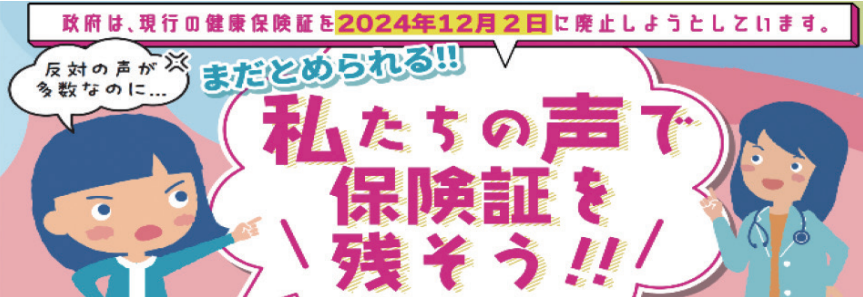
【配布資料】「目で見えるアスベスト建材」(国土交通省)他
※どんなところにアスベストがあるかが良くわかります！

【後援】福岡労働局・福岡県・国交省九州地方整備局(予定)福岡市(予定)

政府は、現行の健康保険証を**2024年12月2日**に廃止しようとしています。

反対の声が多数なのに... **まだとめられる!!**

私たちの声で 保険証を 残そう!!



保険証をのこして

ネットワークふくおか
スタート大集会

政府は2024年12月に現行の健康保険証を廃止しようとしています。いつでも、どこでも、だれでも、必要な時に医療にかかることができる「国民皆保険」制度を支えてくれた健康保険証をなぜ廃止しなければならないのか、私たちには理解できません。

「保険証をのこして」の思いを結集するために、医療・介護・福祉・保育等の関係者、弁護士、中小企業事業主、国家公務員、自治体職員、高齢者・障がい者・女性団体などで「保険証のこして」ネットワークふくおか(会員10万人超)がスタートしました。

今回のスタート大集会は福岡県の歴史に残る日になるはず！ぜひご参加ください♪

【日時】 6月16日(日) 13時～16時

【会場】 九州ビル9階大ホール(福岡市博多区1-8-31)

おすすめの映画 ゴジラ-1.0

ゴジラは敵か、味方か、それとも？

KOHO労働組合 今坂 千鶴

2024年のアメリカ映画界で視覚効果賞を受賞した「ゴジラ-1.0」。みなさんは、すでに鑑賞済みでしょうか？2023年11月から公開して半年ほど経ちますが、いまだ上映している映画館が多数あるほど人気が途絶えていません。

ゴジラ好きの方ならご存知かと思いますが、いま映画館へいくと、日本版ゴジラとハリウッド版ゴジラを観ることが出来ます。(5月中頃時点)

私はどちらも映画館で観て、それぞれの強さ、恐ろしさ、映像美に感動しました。もっとも面白いと感じたのは、人間からみる怪獣王ゴジラの立ち位置です。ゴジラシリーズ開始時は人類の脅威として悪役のイメージが強く出ていましたが、時代や制作する国によって、ゴジラがほかの怪獣と共闘したり、人間を守ったりと立ち位置が変わっていきます。

世代ごとでゴジラに抱く思いは、大きく異なるのではないのでしょうか？みなさんは、ゴジラに対してどんな思いを抱きますか？

編集後記

2015年から2016年に「SEALDs=シールズ」という学生団体が「特定秘密保護法」「安全保障関連法案」の廃案と対話の外交政策を求め活動をしていました。活動は1年ほどと短い間でしたが、新しい運動のかたちとして注目され、交流サイト(SNS)を通じて集会の参加をしらせ、デモでは、音を鳴らし軽快なリズムでシュプレヒコールは新しいデモのかたちで

した。あれから8年過ぎ、昨年の総がかり集会は、「ラブ and ピース～平和の集い」となり、集いの冒頭にブレイクダンスで始まり衝撃でした。今年のメーデーでの仲間の働き方クイズ大会を新設し、これらの集会・デモの変化を実感します。次の世代には、これまでの運動の継承と共に固定観念ではない自由な発想による、運動を作って、幅広い層の人達との連帯をつくってほしいです。(T)